

01 レック・テクノロジー・コンサルティング株式会社

所在地 東京都
設立年 2008年
業種 情報通信業
事業概要 システム基盤最適化のためのITコンサルティング
従業員数 96名(時点:2025年1月)

POINT

- ▶本人の通院や健康診断、家族の通院や健康診断の付き添いの際に利用できるシックリープを会社設立と同時に導入
- ▶シックリープは、医療機関の領収書を提出することで、年10日有給で取得可能。ほぼ全ての従業員が利用している
- ▶年次有給休暇やシックリープは入社月に付与され、当月から利用可能。シックリープがあることで年次有給休暇はプライベートの充実のために安心して取得できている

導入背景

「無理のない働き方」を掲げ、従業員が長く働き続けることができるように制度を設計

- 「無理のない働き方」を掲げ、従業員が安心して長く働くことができる環境の実現を目指している。「効率的に働いて、自分の時間も大事にする」ことを奨励し、しっかり休んでこそ良い仕事ができるとの考えで、休みやすい風土醸成を図っている。
- 2008年に会社を設立した当初、IT業界は残業時間や休日出勤が多く、離職率が高い状況にあった。従業員が長く働き続けられるようにしたいという思いを持って自社の制度を検討した。
- 2020年にはリモートワークも本格的に導入し、リモートワークを基本としつつ、必要に応じて出社するハイブリッド方式で、効率的・効果的な働き方を追求している。

年次有給休暇はプライベートのために安心して活用してほしいと考え、シックリープを導入

- 代表は、当社設立前に外資系企業で勤務していた経験があり、会社設立にあたって外資系企業の良い部分をうまく取り入れたいと考え、前職で導入されていたシックリープを導入することとした。
- 病気やケガの際にはシックリープを活用できることで、病気等に備えて年次有給休暇を取り控えることなく、プライベートのために安心して活用してほしいと考えている。

制度・運用の特徴と効果

シックリープは本人の通院や健康診断、家族の通院や健康診断の付き添いの際に有給で利用可能

シックリープの概要

取得事由	取得可能な日数	有給・無給	特徴など
・本人の通院や健康診断 ・家族の通院や健康診断の付き添い	年10日	有給	・医療機関が発行する領収書の提出が必要 ・半日単位で取得可

- シックリープは、本人の通院や健康診断、家族の通院や健康診断の付き添いの際に有給で取得可能である。家族の範囲は、同居の有無を問わず、原則、本人または配偶者の祖父母・親・子を対象としている。それ以外は、相談があれば個々の事情を鑑みて会社が適宜承認している。
- シックリープは年10日有給で付与しており、余った日数を翌年度へ繰り越すことはできない。健康診断は半日程度で終わることが多いことも踏まえ、半日単位で取得可能としている。
- シックリープの利用時には医療機関が発行する領収書の提出を求めている。家族の通院や健康診断の付き添いで取得する際も同様である。一方で、提出プロセスは簡易になるよう配慮しており、受診日から1週間以内にスマートフォンで領収書の写真を撮影し、専用のドライブにアップロードすることとしている。
- シックリープは入社初日から付与している。年次有給休暇も入社初日から付与しており、入社してすぐに病気等で休みが必要になった際にも、欠勤にならないように配慮している。

シックリブはほぼ全ての従業員が利用。

シックリブがあることで、年次有給休暇はプライベートのために思い切って活用することが可能に

- 2023年度のシックリブの利用者は90名で、健康診断のための利用をはじめ、ほぼ全ての従業員が利用している状況である。2023年度の1人あたりの年間平均利用日数は3.5日であった。歯医者への通院でも利用できるため、週末に通院が難しい場合などに利用するケースも多い。
- 当社では、年次有給休暇を長期で取得してメリハリをつけて休む従業員も多い。風邪をひいたことなどで、年次有給休暇が減ってしまうことには抵抗があるが、シックリブであれば惜しみなく使えるという声もある。また、親がケガをして病院への付き添いが必要になった際に、年次有給休暇ではなくシックリブを利用できてありがたかったとの声もあった。
- シックリブがあることで、病気に備えて年次有給休暇の日数を残しておく必要がなく、年次有給休暇をプライベートのために安心して活用することができている。

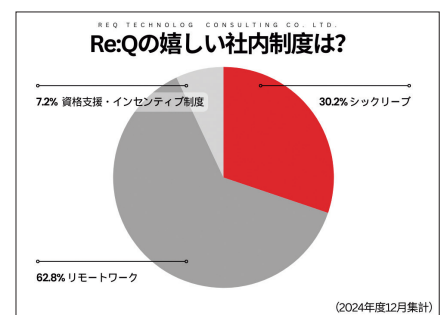
年次有給休暇を取得しやすい風土も浸透。

休暇取得中は他のメンバーがカバーすることで、休暇中はしっかりと休むことが可能に

- 年次有給休暇を取得しやすい風土が浸透しており、管理職が積極的に年次有給休暇を取得している姿を見て、若手の取得も進んでいる。プロジェクトが終わったタイミングで10日間の休暇を取得して海外旅行に行く従業員や、平日に希望者を募って年次有給休暇を取得し、従業員と一緒にゴルフに行くこともある。
- 休暇中は、業務関連の電話・メールはせずに、しっかり休むということが徹底されている。会社からも「休暇取得中の業務は職場で対応するためしっかりと休んで欲しい」というメッセージを伝えている。休暇を取得する際には、上司に加え関係部署にもメールで通知が行くように設定しており、休暇を取得していることを関係者が把握できるようにしている。
- 急な休暇にも対応できるよう、日頃から部署ごとに案件の状況を共有し、上司も状況を把握するようにしている。また、プロジェクトは二人以上のチームで体制を組んでいる。
- 管理職が休暇を取得する際には、部下に権限を預けることもある。任された部下は、視座を高める機会にもなり、責任感の醸成や育成にもつながっている。代表とも近い距離にあるため、任された部下で判断が難しい際には代表に相談することもできる。エンジニアの場合は、他のプロジェクトマネージャー等の近い役職者がカバーすることもある。
- メリハリのある働き方・休み方ができている背景には、メンバーの技術力やコミュニケーション能力、チームでの対応力が高く、日頃からチームで自律的に業務を遂行できていることもある。責任感があり、仕事をやりきる力がある従業員が多いことが、休暇の取得しやすさにもつながっているのではないかと考えている。
- 休暇取得時には、「申し訳ありませんが休暇を取得します」と言うのではなく、「休暇を取得するのでよろしくお願いします」という風土があり、年次有給休暇が積極的に取得されている。2023年度の年次有給休暇取得率は8割弱となっており、高い水準を維持している。

新卒・中途採用の説明会ではシックリブ等の説明に加え、成長環境があることもアピール

- 従業員を対象としたアンケートで、嬉しい社内制度は何かを聞いたところ、3割強が「シックリブ」をあげた。リモートワークと併せて、従業員に喜ばれる制度となっている。
- 新卒・中途の採用活動でもシックリブについて説明している。当社のホームページを見てシックリブが気になったという声もあり、リモートワークと併せて求職者の関心も高い。採用時には、働きやすさだけでなく、エンジニアとして成長していける環境があることもアピールしている。
- 近年は男性の育児休業取得も増え、2024年度には男性2名が同時期に約2か月間の育児休業を取得した。従業員のライフプランに寄り添い、長く働き続けてほしいという会社の方針を、引き続き実現していきたいと考えている。
- 休暇制度以外では、多様な人材の採用・定着のため、短時間正社員制度の導入なども検討している。



社内制度に関するアンケート結果(同社提供資料より)

制度利用者の声

シックリブがあるおかげで、「体調が悪いが、年次有給休暇を使いたくないから少し無理をしても働こう」ということがなく、「何かあればシックリブを利用してしっかり休んだ上で仕事をまた頑張ろう」と思えるようになっていきます。急な病気に備えて年次有給休暇を残しておく必要がなく、安心して年次有給休暇を取得できています。

当社では、もともと休暇を取得しやすい風土があり、シックリブも利用しやすい環境があります。そのため、自分の体調が悪いと感じたときにはしっかりと休むことができています。